

一 包装資材の種類

◆防曇(ぼうどん)袋

商品の個包装に最も多く使用されている袋資材。ポリ袋などに比べて曇りづらく水滴が発生しづらい袋です。葉菜類や果菜類など生鮮野菜全般に使用できます。袋の厚さにも種類があり薄いタイプのものは安価ですがしわがつきやすいので注意が必要です。

◆ラバック

プラスチック製のパックです。用途に応じて様々な形状のものが販売されています。防曇袋に比べ単価は高くなりますが、主に小さな果物類やトマトなど柔らかいものの保護力が高くなります。留め具がついているものもあり封入が容易です。食品を入れる場合は異物混入を防ぐ観点からホチキスの使用は厳禁です。

◆スタンドパック

底部にマチがついた袋です。重ねることは野菜を自立させて陳列でき見栄えの向上に役立ちます。主にジャガイモやトマト類などの小物に使用します。

◆OPPシート

主に結球レタスを包む薄い透明のシートです。

特にレタスは水分含有量が多く乾燥を防ぎます。

農だより

直売野菜の包装のポイント

経済部 営農販売課 逆井 直基

近年、農産物直売所や道の駅、スーパーでの直販流通、軒先販売など多様な販売チャンネルの中で直売野菜はますます盛り上がりを見せています。きわめて新鮮な直売野菜をより多くの消費者に1つでも多く販売するには「包装の工夫」が必要不可欠です。品目や状況に応じた包装の意義や工夫をお伝えしたいと思います。



一 野菜包装の意義

直売で野菜を包装して販売することには「見栄えをよくする」「品物の保護」「品質の保持」の3つの意義があります。生産者が丹精込めて作った野菜をより価値のあるものにし、またお客様が満足して利用していただく為にはほとんどの農産物において包装は必要不可欠です。

しかし、間違った包装をしてしまうと前述した意義をなさないばかりか品質を下げてしまう恐れもあります。消費者により満足をしてもら

シートで包むと水溜りもできないので腐敗防止になります。

防曇袋規格表		
品名	長さ(mm)	幅(mm)
8号	150	250
9号	150	300
10号	180	270
11号	200	300
12号	230	340
13号	260	380



一 見栄えを良くする

い、なにより生産者の売上を伸ばす為に正しい包装をしましょう。

直売所で見られる商品はそのほとんどがプラスチックか防曇袋で包装されています。それぞれの包装資材は透明性が高く、また照明効果によつて野菜をより新鮮に、よりおいしそうに表現してくれます。

しかしながら野菜を詰めるときに袋をしわくちゃにしてしまったり、袋やラバックが土で汚れてしまつているとその効果をなさなくなるばかりか古い商品のように見えてしまします。野菜を包装するときはよく手を洗つて丁寧に包装することを心がけましょう。

また小さな商品を包装したとき、袋が余分に残ります。これが大きく残つていると野菜を並べたときに中に入つている品物がとても見えにくくなります。商品をスマートに見えやすくするためにも余分な部分は切り落としましょう。



一 商品の保護

直売所に限らず生鮮野菜の販売は多くのお客様の手に触れます。お客様の扱い方や手の温度または陳列する什器などからの野菜の傷みを守る為、包装は不可欠です。

例えばトマトやジャガイモなどを袋詰めする際、野菜の量よりも包装資材が大きいと包装の中で野菜がぶつかり合つて傷みが発生する原因となります。容器のサイズは品物に合つたサイズを使用し遊びが出ないようパックシーラーなどでしっかりと口を閉じましょう。



一 消費者の買い易さ

まずは消費者に商品を手にとつてもらうことが第一です。そのためには「商品が持ちやすいこと」「清潔であること」「ひと目で商品が判断できること」が重要になります。内容は前の項目でも説明した通りですが、包装は一部商品をのぞいてきれいでクリアな透明であることが理想となります。品質に自信のある商品であればあるほど中身がしっかりと見える包装をしましょう。



農産物を包装することは一生懸命作つた高品質な商品を消費者に選択してもらう為の「最後の一押し」です。包装は「手間」ですがここで手を抜かないことが1つでも多く販売する為の一番のコツです。是非参考にしてみてください。

◆まとめ

農産物を包装することは一生懸命作つた高品質な商品を消費者に選択してもらう為の「最後の一押し」です。包装は「手間」ですがここで手を抜かないことが1つでも多く販売する為の一番のコツです。是非参考にしてみてください。